

占術を、戦術に。



宙SORA新聞 | 2026年10月号

ビジネスリーダーの運勢戦略

AIは進化した。
あなたの会社は変わったか。



SORA ACADEMY

宙SORAアカデミー



宙SORA新聞 | 2026年10月号

あなたがやらなくても、 ライバルはやる。

10月16日、
AIを「試す」時間から、
仕事の仕組みを変える時間へ。

占星術ではこの日、
破壊と再生を司る冥王星が、
162日間の「見直し」を終えます。

これから半年、
差がつくのはAIの性能ではありません。

使い始めた時間です。

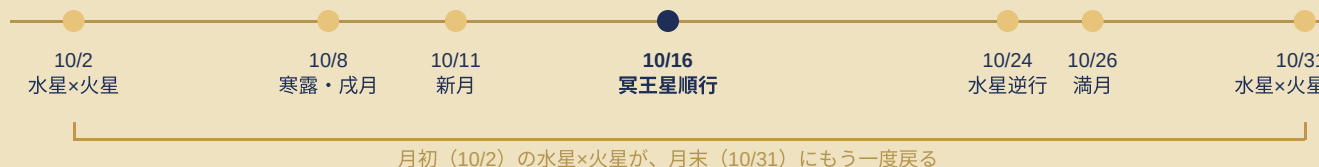
2026年10月16日 11時40分 冥王星、162日ぶりに順行へ



10月の流れと、カレンダー

帯は「続く流れ」、点は「その日の節目」。その下のカレンダーで、動かす日と慎重に進める日を確認してください。

1～7日 ぶつかる 決着を急がない	8～15日 外へ出す 見える形にする	16～23日 再び動く 止めたことを再開	24～31日 選び直す 価格・契約・関係を再検討
-----------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------------



● 動かす日 ◆ 流れの切り替わり ▲ 慎重に進める日

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1（木）● 天赦日
→ 止めていた案件に着手 | 16（金）◆ 冥王星が順行へ
→ 試行から実装へ |
| 2（金）▲ 水星と火星がぶつかる
→ 言葉と判断が先走りやすい | 17（土）● 甲子
→ 新しい習慣を始める |
| 3（土）▲ 金星が逆行へ
→ 条件・予算を再確認 | 20（火）▲ 金星と冥王星が緊張
→ 価格・契約・力関係を点検 |
| 4（日）▲ 太陽と土星が向き合う
→ 制約や責任が表面化 | 23（金）◆ 霜降・太陽が蠍座へ
→ 表面より本質を見る |
| 7（水）▲ 水星と金星が重なる
→ 過去の約束を確認 | 24（土）▲ 水星が逆行へ
→ 契約・数字を再確認 |
| 8（木）◆ 寒露・戌戌月へ
→ 企画を外へ出す | 25（日）◆ 金星が天秤座へ戻る
→ 対等な条件へ戻す |
| 11（日）▲ 天秤座の新月
→ 交渉は部分合意まで | 26（月）▲ 牡牛座の満月
→ 残すもの・終わるものを決める |
| 15（木）● 太陽と木星が調和
→ 提案・発表に使う | 31（土）▲ 水星と火星が再びぶつかる
→ 反射的な返信を避ける |

※日時はすべて日本時間です。天体の位置はSwiss Ephemeris（Moshier）で計算しています。

※本資料は占術に基づく未来予測であり、結果を保証するものではありません。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 一面

この半年で、仕事はどれだけ変わったか

この半年、AIエージェントは驚くほど進化しました。

質問に答え、文章をつくるだけではありません。仕事を分解し、必要な情報を集め、複数のツールを使いながら、目的に向かって作業を進める。

AIは「答える道具」から、「仕事をする存在」へ変わり始めています。

では、あなたの会社の仕事は、この半年でどれだけ変わったでしょうか。

人が情報を探す。

人が資料をつくる。

人が確認の連絡をする。

人が同じ内容を何度も入力する。

AIそのものは進化しても、仕事の流れは以前のまま。そんな会社は、まだ少なくありません。

帝国データバンクが2026年3月に行った調査では、生成AIを業務で活用している中小企業は32.4%でした。一方、すでに活用している企業の86.7%が、業務への効果を実感しています。

使っている会社と、まだ様子を見ている会社。

その差は、もう始まっています。

出典：帝国データバンク「生成AIに関する企業の動向調査（2026年3月）」2026年5月14日公表。86.7%は、生成AIを活用している企業3,560社のうち「効果あり」と答えた割合です。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 星と暦

10月8日 | 内側で競う流れから、外へ見せる流れへ

東洋の暦では、10月8日15時29分に、丁酉月から戊戌月へ切り替わります。年の「丙」から見ると、月の働きは劫財から食神へ。今回の劫財が表すのは、競争や取り分を巡る動き。食神が表すのは、考えてきたことを形にして、外へ出す働きです。

九星の月盤も、一白水星から九紫火星へ移ります。2026年は丙午の年。月盤は九紫火星、月支の戌は火の力を収める場所です。年・月盤・月支という三つの層に火が重なるのは、2026年ではこの戌月だけです。

火が今回担うのは、内側にあったものを、外から見える形にする役です。社内で温めてきた企画やAI活用を、提案、発信、試作品として外へ出す。ただし、火は勢いが強すぎると、話を大きくしすぎます。

企画は外へ出す。契約条件は勢いで決めない。

これが、8日以降の使い分けです。

冥王星は、ほかの天体と同じではない

占星術では、天体によって影響する範囲と時間の長さが違います。水星・金星・火星などは、考える、選ぶ、動くといった、私たちの日常に近い働きをします。一方、土星より外側を回る天王星・海王星・冥王星は、個人の意思では止めにくい、時代や社会の大きな変化を表します。日々の天気というより、地殻変動に近い存在です。なかでも冥王星が司るのは、破壊と再生です。古い仕組みを少し便利にするのではありません。その仕組みが必要だった前提から壊し、以前と同じ場所には戻れない形へつくり変えます。

その冥王星が現在いるのは、水瓶座です。水瓶座が扱うのは、テクノロジー、ネットワーク、組織、社会のルール。したがって、今回の冥王星は、革命を起こす役で登場します。これは、今までの仕事をAIで少し速くする話ではありません。

AIがいる前提で、仕事の仕組みそのものをつくり直す。

そこまで進んで、初めて冥王星らしい変化になります。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 冥王星

逆行中も、AIは進化した

冥王星は、5月7日から逆行していました。「逆行中にAIがこれほど進化したのなら、星は関係ないのではないか」そう思う人もいるでしょう。しかし、逆行と順行で変わるのは、変化の速度ではありません。変化が向かう方向です。

逆行中も、技術は進みました。同時に、何をAIへ任せるのか。情報をどこまで渡すのか。誰が確認し、誰が責任を持つのか。実際に使ったからこそ見える問題も増えました。試して、迷って、戻して、もう一度試す。この期間は、AIを社会や仕事へ本格的に組み込む前の、内側の組み替えが進んだ時間だったと読めます。

その冥王星が、10月16日11時40分、162日ぶりに順行へ戻ります。バックギアから、ドライブモードへ。

ここから問われるのは、「AIが何をできるようになるか」ではなく、「AIによって、会社と仕事をどうつくり直すか」です。

あなたがやらなくても、ライバルはやる

「もう少し使いやすくなってから」「周囲の様子を見てから」「必要になったら導入すればいい」。そう考えて、対応を後回しにすることはできます。しかし、自社が待っている間も、競争相手は待ってくれません。AIを使い始めた会社は、一つの作業が速くなるだけではありません。提案書をつくる速度が上がる。顧客への返事が早くなる。一人で試せる企画の数が増える。失敗と改善を繰り返す回数も増える。その差は、一日では目立ちません。しかし、半年後に同じAIを導入しても、競争相手はすでに半年分の経験を積んでいます。同じ道具を持つことはできても、同じ地点から始めるわけではありません。

**道具は手に入っても、
使いこなすまでに積み重ねた時間は買えない。**

AIを使わないという選択はできます。ただし、その場合も、AIを使ってより速く、より多くの仕事をする相手と競争することになります。冥王星が起こす変化は、興味のある人だけが参加する流行ではありません。市場の前提そのものを変えていきます。



10月11日 | 商談は勧める。契約は急がない。

10月11日は、新しい交渉や協力関係が動き始める日。

ただし、金額、役割、期限、主導権を巡って、互いに譲れない条件が出やすくなります。すべてを一度に決めようとせず、合意できる部分だけを定める。残った条件は持ち帰り、後日あらためて話合ってください。

新月

新しい局面を始める役

天秤座

10月11日の新月が起きるのは、交渉、契約、協力関係を扱う天秤座。新しい相手と手を組む。互いの条件を調整する。そんな話が動き始める新月です。

火星

自分の意思を通す役

獅子座

獅子座にいるため、「自分の案で進めたい」「自分が主導したい」という形で現れます。

冥王星

古い力関係を壊す役

水瓶座

水瓶座にいるため、誰か一人の希望ではなく、組織のルールや意思決定の仕組みそのものを変えようとします。

金星

合意するための条件

蠍座

金額、契約内容、利益の分配、相手への信頼。何が整えば、その話を受け入れられるのかを示します。

不動宮

決めたことを変えない力

獅子座・蠍座・水瓶座

三つの天体がいる星座は、すべて不動宮。粘り強さになる一方、意見が対立すると、誰も自分から方針を変えようとしません。

火星は、自分の案を通したい。冥王星は、その前提となる仕組みから変えたい。金星は、過去の約束や条件を確認し直したい。この三つの要求が一か所で衝突します。これが、今回のTスクエアです。

この時期の戦術は、全員を一度に説得することではありません。次の六つを分けてください。

金額 | 期限 | 担当範囲 | 成果物 | 今回決めること | 持ち帰ること

合意できる部分だけを決め、残りは持ち帰る。

交渉を成立させるより、交渉を壊さず次へつなぐ。

これが、10月11日前後の戦術です。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 10月16～17日

10月16～17日 | 試す段階から、実装する段階へ

10月16日、冥王星が順行へ戻ります。同じ日、行動を表す火星と、現実の枠組みをつくる土星が調和します。勢いだけで始めるのではなく、期限、担当、手順を決め、継続できる形へ落とし込める配置です。

西洋占星術 | 10月16日

冥王星が前を向く

冥王星が順行へ戻り、火星と土星が調和します。

東洋の暦 | 10月16日・17日

癸亥から甲子へ

16日は六十干支の最後にあたる癸亥。翌17日は、新しい六十日が始まる甲子です。

西洋占星術では、冥王星が前を向く。東洋の暦では、一つの周期が終わり、新しい周期が始まる。二つの時間が、同じ場所で切り替わります。

10月16日までに

AIがいる前提でつくり直す仕事を、一つ決める

- ・顧客への返信
- ・提案書の作成
- ・情報収集
- ・会議の記録
- ・問い合わせの整理
- ・商品企画や教材の下書き

すべてを一度に変える必要はありません。一つ決めて、16日以降、実際の仕事で使い始める。

「AIを導入するか」ではなく、
「どの仕事からAI前提につくり直すか」。

ここが、占術を戦術へ変える最初の一手です。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 10月18～31日

10月20～26日 | その値段と関係は、今も対等か

仕事の仕組みが変われば、仕事の値段も、人との組み方も変わります。

10月20日、金星が冥王星と緊張関係になります。今回の金星が担うのは、その仕事を引き受ける条件です。金星は逆行中で、蠍座にいます。蠍座が扱うのは、共有するお金、深い信頼、簡単には切れない契約です。

**以前に決めた金額。長い付き合いだから続けている条件。
どちらか一方だけが負担している役割。**

これまで見ないことにしていた不均衡が、表へ出やすくなります。

24日には太陽と金星が重なり、水星が逆行を始めます。25日には、金星が逆行したまま天秤座へ戻ります。天秤座が求めるのは、対等であることです。そして26日、牡牛座で満月が起こります。牡牛座が示すのは、自分が持っているお金、能力、時間、商品。向かい側の蠍座が示すのは、借りているお金、共有している利益、相手と結んだ深い関係です。

ここで確認したいのは、次のことです。

- その仕事の価格は、現在の価値に合っているか
- 利益と責任の分け方は公平か
- 継続契約が情性になっていないか
- 相手との信頼は、現在も残っているか
- AIで短縮できた時間を、安売りしていないか

AIを使って作業時間が短くなったからといって、提供する価値まで下がったわけではありません。顧客が買っているのは、あなたが机に向かった時間ではなく、問題が解決されることです。

**速くできるようになった仕事ほど、
時間ではなく価値で値段を見直す。**

これが、10月後半のお金の戦術です。人間関係でも同じです。付き合いが長いから続けるのではなく、今も互いに価値を渡し合えているか。対等な関係になっているか。新しい縁を増やす前に、現在の契約と関係を整える時期です。



宙SORA新聞 | 2026年10月号 この先の半年

冥王星が前を向く204日間

10月16日に順行へ戻った冥王星は、2027年2月7日に今回の逆行前の位置を通過し、5月8日に再び逆行へ入ります。順行期間は204日。約6か月半です。

10月16日から年末まで

AIを一つの業務へ組み込み、毎週使う。便利かどうかを眺めるのではなく、実際の顧客対応、企画、制作、管理へ入れます。

年明けから2月7日まで

誰が指示し、誰が確認し、誰が責任を持つのかを決める。一部の人だけが速くなる状態から、会社やチームの仕組みとして回る状態へ進めます。

2月7日から5月8日まで

AIで既存業務を効率化するだけでなく、AIがなければ提供できなかった商品、役割、働き方をつくる。そして5月8日から、次の見直しに入ります。

2026年10月にやること

10月11日前後は、無理に合意を取らず、条件を具体化する。

10月16日までに、AI前提で作り直す仕事を一つ決める。

10月20日以降は、値段、契約、利益の分配、人との関係を見直す。

AIは、すでに進化しました。次が変わるのは、会社と仕事の仕組みです。星と暦は、未来を怖がるために見るものではありません。起こり得る流れを先に知り、判断を一つ早くするために使うものです。

占術を、戦術に。

2026年10月。まず一つ、仕事の仕組みを変えるところから始めてください。



宙SORA新聞 | このレポートについて

人生は、 思い通りになります。

願えば叶う、という話ではありません。

「無理」と思えば、そこで止まる。

「できる」と思えば、方法を探し始める。

年齢も、性別も、学歴も関係ありません。

人生は、すごろく。
振り出しに戻っても、また振ればいい。

計算・参考資料

西洋占星術：Swiss Ephemeris（Moshier）／日本標準時（UT+9）

冥王星 逆行開始 2026年5月7日00時34分／順行開始 2026年10月16日11時40分／逆行シャドー通過 2027年2月7日10時16分／次回逆行開始 2027年5月8日21時54分

帝国データバンク「生成AIに関する企業の動向調査（2026年3月）」 <https://www.tdb.co.jp/report/economic/20260514-genai/>

※本稿は占術に基づく未来予測であり、結果を保証するものではありません。仕事上の判断材料の一つとしてご活用ください。

※本資料は判断材料の提供を目的としたもので、投資・法務・税務に関する助言ではありません。

※日時はすべて日本時間です。

発行元

宙SORA 株式会社華蓮 代表取締役

風水師です。2004年開業。香港・シンガポール・マレーシアの師に学びました。

玄空飛星を土台に、四柱推命・奇門遁甲・西洋占星術を重ねて読みます。著書『お仕事風水』（西東社）ほか。

個人の鑑定と、宙SORAアカデミーの運営をしています。このレポートは毎月25日にお届けしています。

次号は10月25日（日）／バックナンバー sora-fusui.com/backnumber